10　家庭

学校番号	３２０

平成３１年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎（自立・共生・創造）　（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５資料集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。人の考えを知り、多様な考え方を学び、認め合い、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた基礎的な技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活を実践しましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録レポート 発表 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録レポート 発表 定期考査の結果 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録レポート、定期考査、実技テストの結果 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録レポート、定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月前半	工夫して生きる	○家庭科の学び方 ・ホームプロジェクト ＊自己を知る (夏休み課題として行い、年度を通して発表の機会を設ける)	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている	授業観察 ワークシート 発表
4月後半 5月 6月	衣生活をつくる	○エプロン製作実習 ・ミシンの扱い方 ・被服実習器具の扱い方 ・型紙製作 ・エプロン製作 ○衣生活のあり方 ・製作実習を通して、市販されている衣服について考える。	○	○ ○	○	○	a:被服材料や被服構成に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:被服材料や構成などの手順を考慮し、現在身にまとっている衣服のあり方について考え、よりよい衣服とのかかわり方について、思考することができている。 c:被服の製作に必要な器具の操作や、ミシン縫い、スナップ付けなどの基本的な技術が身に付いている。 d:被服材料や、構成の仕方などについて、必要な知識を身に付けている。	実習観察 実習レポート 作品 小テスト
7月	持続可能な社会	○環境問題について考える ○環境問題と個々の生活のかかわりについて理解する。 ○持続可能な社会を目指して、自らの生活を発展的に考える。	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○	a:持続可能な社会について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:持続可能な社会を実現するため、自らの生活の課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:課題解決策を自らの生活で実践する技術を身に付けている。 d:持続可能な社会を実現するために必要な知識を身に付けている。	ワークシート レポート

8 月	高齢社会を生きる	○高齢社会の現状と課題を理解する ○高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。 ＊高齢者疑似体験	○ ○	○ ○	○	○	a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
9 月 10 月 11 月	食生活をつくる	○食生活について考える ○食事と栄養・食品 ・何をどれだけ食べればいいの？ ○食生活の安全と衛生 ○日本の食問題 ○調理の基礎 ＊調理実習2～3回 洋風料理・中国料理・和風料理	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 定期考査 実技試験
12 月	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と保育 「子どもの安全」 「子どもの食事」	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査

1月 2月	経済生活を営む・生活を設計する	○生涯を見通す ・自分の目指すライフスタイルとは？ ・生涯を見通した生活設計 ＊生活設計に必要な要素 ○賢い消費者になる ・消費行動と意思決定 ・消費者の権利と責任 ＊悪徳商法のロールプレイング ・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性 ＊マネープランゲーム	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d：現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
3月	住生活をつくる・子どもと共に育つ	○住まいは暮らしの器 ・安全で快適な住居 ＊耐震構造実験 ・ライフステージにあった住居 ＊将来のライフスタイルを見通した部屋の選択	○	○	○	○	a：住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。